

# 根木内歴史公園:湿地の観察会報告(2011/12/13 実施)

2011/11/20 文責/編集:相澤

参加者:相澤、市川、染谷、高橋(節)、西澤、三井、山田(洋)  
山口(千葉大)

12月に入り野鳥の季節到来!!ということで、今回は野鳥の定点観察を行い、更には今後間伐などが予定されている樹木を台地上や斜面を中心に観察しました。ずっと上を見ていたこともあり、雲一つない澄んだ青空が印象的だったという感想が多く聞かれました。

## ◇観察した野鳥 観察順 ()内は個体数

### ●湿地部

ヒヨドリ(10以上)、ウグイス(1)、セグロセキレイ(2)、ジョウビタキ(2)、カラヒワ(1)、ハクセキレイ(2)、モズ(1)、キセキレイ(1)ハシブトガラス(2、飛翔)カワウ(1、上空を飛翔)

### ●台地上(城址部)

ヒヨドリ(10以上)、シジュウカラ(1)、ウグイス(1)、メジロ(1)

●今回は湿地部でたくさんの種類が見られ、台地上は4種と少ない傾向が見られました。いつもはコゲラやエナガ・カラヒワなども見られるのですが、群れが来たり来なかったりで、見られる時間帯が日によって限定されているのかもしれないね。

## ◇今日のお気に入り

### 冬空

今日はなんと言っても根木内歴史公園の上に広がる雲一つない真っ青な空!を上げたいです。そして降り注ぐ太陽の光...まぶしい日射しでしたが、とても暖かく気持ちよかったです。(染谷)

雲ひとつない、澄んだブルー。時々飛び交う鳥達の声。心地よい空気感です。(山田)

空は青空、風もあまりなく、暖かな観察日和でした。(西澤)





### セキレイのトリオ

セグロ・ハク・キの3種類を間近に見られてよかった。(三井)

右写真のハクセキレイはすごく色がうすいので、若い个体かも？セグロセキレイ（下写真）は日本にしかない固有種です。キセキレイ（右下写真）が常にいる場所はあまり知らないのですが、根木内には必ずいるので良いですね。でも今日は後ろ姿しか撮らせてくれませんでした。(相澤)



### シロダモ

初冬の少し黄色みを帯びた日差しを受けて、赤い実がつやつやと輝いていました。その側には少し盛りを過ぎて褐色になった花が、沢山付いてます。実と花が同時に見られるなんて、面白いですね。雌雄異株だそうです。そう言えば、シロダモの木は結構あちこちにあるのに、実を見る機会はないなどと、納得しました。(市川)

\*写真は先月、花盛りであった時のもの。



### 冬桜

花のない季節、小枝に小さな白い花をたくさん咲かせていました。(山田)

冬空に映える桜。春に見る桜とは何か違う、すがすがしさのようなものを感じます。

(相澤)

## モズ

今日はモズはいないのかなと高い木の方に眼をやると、川の向こうの木のでっぺんにちゃんと止まっていました。

百舌鳥啼くや一番高い木のさきに（正岡子規）  
そして我々の方にとんできて、ヨシのかたまりの所にとまり、じっと湿地をにらんでいました。ごちそうは見つけられたかしら。（西澤）



## ジョウビタキ

ジョウビタキのつがいが見られたのでよかった。（三井）

エゴの木にはジョウビタキのオス、メス両方がやってきました。枝から枝へと盛んにとびかい、時々湿地におりてなにかをついばんでいるようす、なにを食べているのかな？ジョウビタキのエサはなに？（昆虫やクモ、草木の実など）いままで、羽とか、オレンジ色のハラのところばかり注意をむけていましたが、オスの頭が薄いグレーだったことに気づきました。（西澤）

## 冬芽

冬芽を見つけました。写真はミズナラでしょうか、コナラでしょうか？悔しいことに、冬芽だけでは樹種が分かりませんでした。この木だけではなく他の落葉樹たちも、とっくに来年の準備を進めています。毎年、木々の周到さに感心させられます。（山口）



## アオサギ

午後、山影になった湿地にはアオサギが一羽じっとたたずんでいました。（西澤）

## ◇観察会の感想より…

セキレイ三種、ジョウビタキの雌雄、モズ(メス?)などが、短時間に見られて、やはりこの環境は貴重だと再確認しました。それに、少なくなりましたが、白いオギの穂や、輝いて散るコナラや、イヌザクラの枯葉を見ると、景色もいいなと思います。(市川)

樹木と鳥の観察会とのことで、きょうは上ばかり見ていました。その結果ないないと言っていた、オオカマキリの卵のうを落葉した樹の枝先に二個見つけました。新潟に住むかたで、毎年カマキリが卵を産み付ける高さで、その年の積雪量を予想するという話しをずいぶん前にテレビで見ました。まさかこの根木内に2メートルの雪が積もることに……。他に産卵する場所が無かったのか?鳥のエサにならずに無事に誕生してくれると良いのですが。

それともうひとつ、尾をしまいこみ急降下するハトより大きく白っぽい鳥を見ました。チョウゲンボウ???他の猛禽類?か、私が根木内で初めて見る鳥でした。実際見つけて皆に見てもらい、確認するまでにいたらない早さで、あっという間に姿が見えなくなる……。たまには上を向いての観察会も楽しいですね。(高橋)

上の広場のウメの木、背の高さよりも高いところにカマキリの卵が二つそしてそのそばには、逆さ状態でカマキリがささっていました。モズのハヤニエか?夏のおわりにセミがカマキリに食べられながら必死で鳴いていたのを思い出しました。そのカマキリよりも強いのはだあれ?

今日は土の部分ほとんど見なかったなあとと思うとちょっとところ残りのような気がしました。すべて見るのは無理ですが。(西澤)

緑濃い常緑樹と、色付いた落葉樹が日に照らされて輝きながら、ちらちら、ひらひらと葉を落としていく様、その背景には真っ青な空... この単純なそして当たり前の姿が何とも素適でした。自然の営みって、ほんとうに素晴らしいですね。私には殆ど聞き分けることが出来ないのですが野鳥たちのさえずりが絶え間なく木々の間や枯れた草の中から聞こえてくるのも嬉しかったです。(染谷)

\*カマキリの写真は撮り損ねました。すみません。

根木内歴史公園の湿地の観察会は毎月第2火曜日に行っています(雨天時は次の日に延期)。1月は10日(火)の予定で、集合は冬時間ということで、10時に公園駐車場となります。冬鳥や樹木を見て回り、新春の公園を観察しましょう。観察は昼まで、公園内で昼食を食べて解散です。

お問い合わせ(千葉大・相澤)

E-mail: [akihitoaizawa@gmail.com](mailto:akihitoaizawa@gmail.com)